

★米中関係の4つの枠組みを確認しよう＝王毅外相の新華社インタビュー

中国の王毅・国務委員兼外相と楊潔篪（ようけつち）・共産党政治局員が8月末から9月にかけてあいついでアジア・欧州諸国を歴訪しました。これに先立ち両氏は、激化する米中対立について中国の基本的な立場と打開の方策を提案しました。王毅国務委員・外相は8月5日、新華社のインタビューというかたちで詳しく見解をのべ、米中関係打開の4原則を提示しました。

第一に、越えてはいけない一線を明確にし、対抗を回避する。第二に、ルートを円滑にし、率直な対話を行う。第三に、デカップリングを拒否し、協力を保つ。第四に、ゼロサムの思考を捨て、責任を共に担う、です。

インタビューの全文（日本語）は以下で閲覧できます。

http://jp.xinhuanet.com/2020-08/07/c_139271507.htm

★中米関係から得られる4つの啓発＝楊潔篪

楊潔篪（よう・けつち）中国共産党中央政治局委員・中央外事工作委員会弁公室主任は7日、「歴史を尊重し、未来に向かうことで、中米関係を揺るぎなく維持し、安定させる」と題した署名入り文章を発表しました。新華網（日本語）の報道は以下で参照。

http://jp.xinhuanet.com/2020-08/08/c_139275086.htm

★中国共産党が絶対承認しない5つの企て＝習近平中国共産党総書記

中国共産党の習近平総書記は9月3日、人民大会堂で開かれた抗日戦争勝利記念75周年の座談会で講話を行い、このなかで抗日戦争と世界反ファシズム戦争勝利の意義を強調するとともに、米国のポンペオ国務長官ら要人から相次ぐ中国共産党攻撃を念頭に、5つの企てを決して承認しないと次のようにのべました。

「いかなる人、勢力であれ、中国共産党の歴史を歪曲し、中国共産党の性質と目的を貶めようとする企てを、中国人民は決して承認しない」

「いかなる人、勢力であれ、中国の特色ある社会主義の道を歪曲、改変し、中国人民が社会主義を建設してきた偉大な成果を否定し、貶そうとすることを、中国人民は決して承認しない」

「いかなる人、勢力であれ、中国共産党と中国国民を切り離して対立させようとする企てを、中国人民は決して承認しない」

「いかなる人、勢力であれ、いじめ的手段で意志を中国に押し付け、中国の進む方向を変え、中国人民が自分たちの素晴らしい生活を創造する努力を阻害しようとする試みを、中国人民は決して承認しない」

「いかなる人、勢力であれ、中国人民の平和な生活と発展の権利を破壊し、中国人民と他国の国民との交流と協力を破壊し、人類の平和と発展という崇高な事業を破壊しようとする企ても、中国人民は決して承認しない」

習総書記はこの講話で、トランプ大統領の名はあげませんでした。

習総書記はまた日中関係について「中日間で長期間にわたって平和と友好関係を保つことが両国の利益になる」と強調、そのうえで「日本の軍国主義の侵略の歴史を深く反省することが中日関係を発展させる重要な政治的基礎になる」とのべました。

習近平国家主席は同日、北京市郊外にある盧溝橋近くの中国人民抗日戦争記念館で開かれた「抗日戦争・反ファシズム戦争勝利 75 周年」の記念式典に出席しました。中国は 2014 年からこの日を「抗日戦争勝利記念日」と定めています。習主席の式典への参加は軍事パレードを実施した 2015 年の「70 周年」以来で 5 年ぶりでしたが、式典での演説はしませんでした。（了）